



九州ブロック



発行人：支部長 秦 喜八郎
宮崎県医師会館

ニュースレター No.13 (2018.06)

【福岡県】

- ・活動内容: 日本プライマリ・ケア連合学会 福岡県支部総会
- ・日時 : 平成30年1月26日(金) 19時15分～20時30分
- ・場所 : JR 博多シティ会議室 10F 大会議室 A
- ・内容: 以下の5点について報告・話し合いを行い、今後の活動方針を決定した。

- ① 平成28-29年度の活動報告
- ② 福岡県支部の新しい規約を作成し、日本プライマリ・ケア連合学会会員以外にも参画できる多職種連携を意識した支部作りを提案
- ③ 福岡県支部の世話人会を福岡県各エリア(福岡・北九州・筑豊・筑後)の4つに分け、それぞれの地域で勉強会を企画し、交流を深めることを提案
- ④ 福岡県支部副代表として、福岡大学総合診療部教授 鍋島茂樹先生に参加していただくこととなった。
- ⑤ 平成30年度は福岡県各エリアの世話人会の代表を選出して、協働して支部活動を盛り上げて行く方針で決定した。

【熊本県】

<報告事項(3月以降)>

1) 熊本総合診療研究会世話人会

4月17日 19時から熊大で行なわれました。

4病院での専攻医の研修状況等について報告がありました。

【鹿児島県】

鹿児島県支部

2018年4月からスタートした総合診療専門医研修プログラムでは鹿児島県支部の世話人がプログラム統括責任者となっている2つのプログラム: 鹿児島総合診療研修プログラム(基幹施設: 垂水市立医療センター垂水中央病院)、慈愛会総合診療専門研修プログラム(基幹施設: 慈愛会今村総合病院)で合計7名の専攻医が研修を開始しました。今後多くの総合診療専門医を育成できるように、鹿児島県支部としても強力にバックアップしていくつもりです。



講演会・研修会の実施は下記のとおりです。

2018年4月3日第180回垂水医療セミナー:講師 大脇 哲洋先生(鹿児島大学大学院離島へき地医療人育成センター教授)演題「地域医療を取り巻く環境と対応」:鹿児島県の地域医療を支える人材育成を行っている立場から、鹿児島県の地域医療の現状から今後の方向性まで幅広くかつ重要な話をいただきました:参加者 62名(うち認定医・専門医 8名)

2018年5月26日鹿児島県総合診療専門研修プログラム第1回合同勉強会:充実したポートフォリオの書き方について講演と実例の発表などが行われ、参加した専攻医から好評を得ました:参加者 30名(うち専攻医 5名、認定医・専門医 12名)



【沖縄県】

第8回沖縄プライマリ・ケア研究会総会・講演会のご報告

日時:平成30年5月12日(土曜日)

場所:沖縄県医師会館3階ホール

参加者:32名

総会の後、木村眞司先生をお招きしてご講演を拝聴しました。

演題名:「家庭医療・総合診療における、頭痛、めまいのみかた」

演者:木村眞司先生 札幌医大医療人育成センター教養教育研究部門教授

日本プライマリ・ケア連合学会副理事長・同北海道ブロック支部長

ご講演の内容としては、先生と沖縄のつながり、松前町立松前病院での10年間のご経験、北海道ブロック支部のこと、神経学的診察の実演、頭痛、めまい、しびれのみかたと使用する薬、英語教育のこと、ITを活用したプライマリ・ケアレクチャーシリーズ、カンファレンスのことなど多方面にわたる盛りだくさんお話を伺いました。参加者も研修医からベテラン医師まで幅広く、大変盛り上がりました。写真は懇親会の様子で、木村先生を囲んで楽しいひと時を過ごしました。(文責:稲福徹也)

